

令和4年度

カミツキガメ通信

発行：令和4年4月



千葉県では、生態系や農林水産業に被害を与えるおそれのあるカミツキガメについて、主にワナによって捕獲する捕獲事業と、県民からの通報に基づいて市町村や警察が收容する緊急收容の2つの体制で防除を行っています。今回は、令和3年度の結果と、これまでの取組の成果についてお知らせします。

捕獲事業の結果

- ・ 5月～9月までは、主にワナによって、その他の時期は、手探り等ワナ以外の方法によって、カミツキガメを捕獲しています。
- ・ その結果、令和3年度は、計1,323頭（オス646、メス487、性別不明185、欠測5）のカミツキガメが捕獲されました。
- ・ 捕獲されたカミツキガメの体長（背甲長）は、雌雄ともに150～225mmの間に集中していました。また、300mmを超える大型の個体は非常に少ない結果となりました。

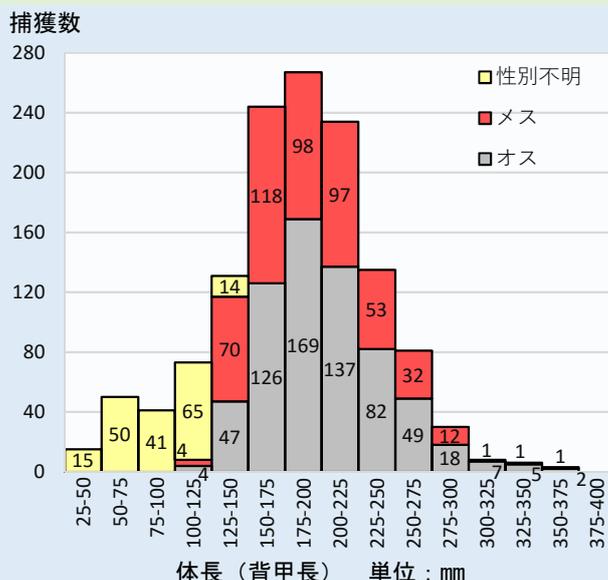


図. 令和3年度に捕獲されたカミツキガメの体長

緊急收容の結果①

- ・ 県民のみなさんの協力により、令和3年度は133頭（オス68、メス38、性別不明27）の捕獲がありました。
- ・ 捕獲数はカミツキガメが活動を開始する4月から徐々に増加し、6月が最も多くなりました。その後は減少しました。
- ・ 9月以降は、カミツキガメが動かなくなり、人目につきにくくなるため、目撃・発見される例も少なくなりました。

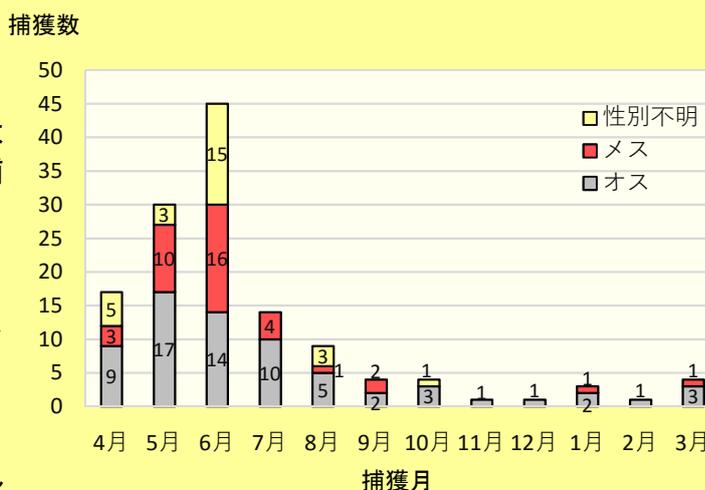


図. 令和3年度に收容したカミツキガメの月ごとの捕獲数

発行：千葉県環境生活部自然保護課
生物多様性センター
〒260-8682 千葉市中央区青葉町955-2
(千葉県立中央博物館内)

TEL 043-265-3601
URL <https://www.bdcchiba.jp/kamitukigame>
mail webmaster@bdcchiba.jp

緊急收容の結果②

- ・発見された環境は、水田が最も多く、2番目に多かった水路と合わせ、この2環境が全体の50%以上を占めました。このことから、カミツキガメが水田地帯を生息場所としていることがわかります。
- ・カミツキガメは水中で暮らしていますが、道路でも発見例が複数ありました。これは、陸上を移動していたカミツキガメが、人目につきやすいためと考えられます。

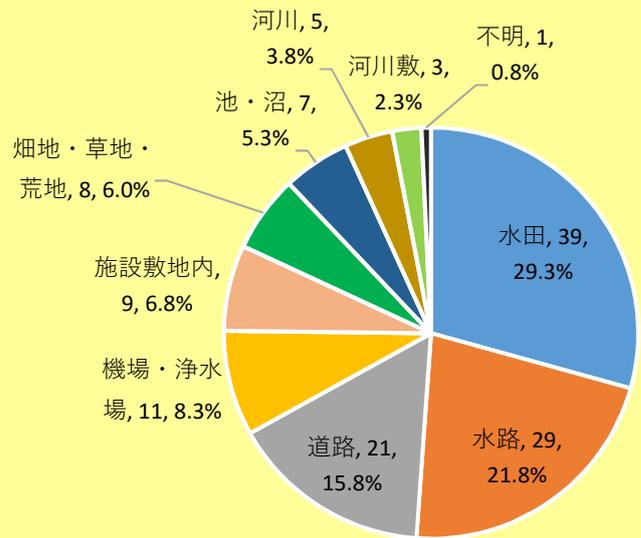


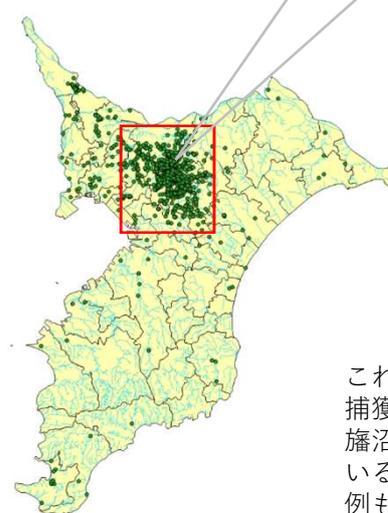
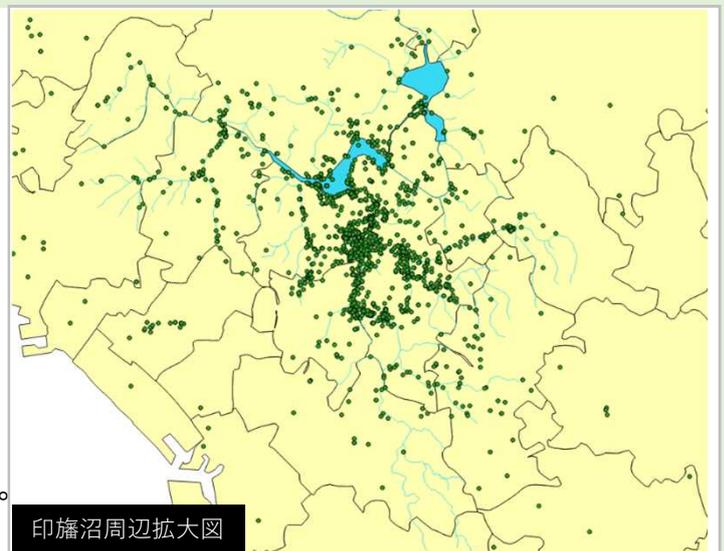
図. 令和3年度に緊急收容があった環境

これまでの取組の成果

平成19年度から開始した捕獲事業では、これまでに、12,152頭のカミツキガメを捕獲しました。捕獲対象地を拡げたり、捕獲方法を工夫することによって、捕獲数は増加しています。

また、平成18年度から開始した緊急收容では、これまでに、2,423頭を收容し、捕獲事業との合計は14,575頭に達しています。

県ではこれらの捕獲データを基に、個体数の推定や生息状況等の解析を行っています。県民のみなさんからの通報が防除に大きく役立っています。



これまでに緊急收容により捕獲した地点（累計）。印旛沼とその流域に集中しているが、他の地域での発見例もある。

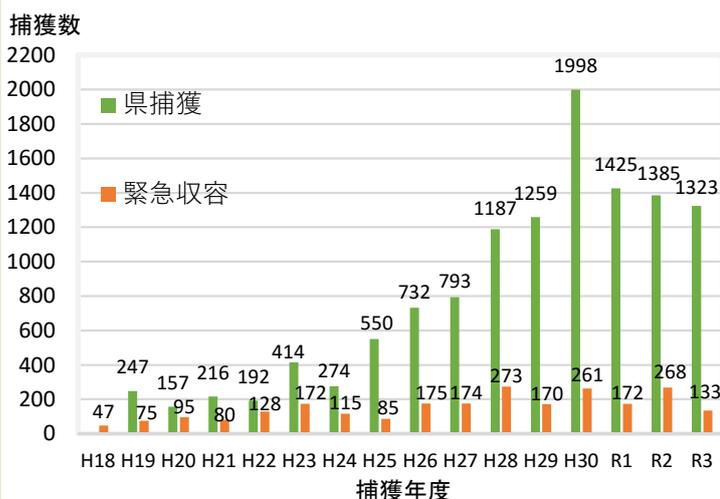


図. 防除事業におけるカミツキガメの捕獲数の推移

○ 野外でカミツキガメを見つけたら・・・

野外でカミツキガメを見つけた場合、手を出したり、捕まえようとせずに、地元の市町村または警察に連絡してください。